

島根県立石見美術館 コレクション展

「森鷗外先生、語る」の開催について

島根県立石見美術館では、コレクション展「森鷗外先生、語る」を下記の通り開催いたします。つきましては、ご多忙とは存じますが、取材及び報道方よろしくお願ひいたします。

記

1. 会 期 平成 29 年 1 月 11 日 (水) ~ 2 月 26 日 (日)

休 館 日：毎週火曜日 (ただし 1 月 31 日は開館)

開館時間：10:00~18:30 (展示室への入場は 18:00 まで)

2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室 B (Grantow 内)

3. 展覧会概要及び見どころ

文学者、軍医として知られる森鷗外が、明治・大正の美術界に深く携わるようになったのは、洋画家・原田直次郎との出会いがきっかけでした。原田の旧派（北派）と黒田清輝がもたらした新派（南派）との対立など、明治美術界が大きく変革する様を近くで目撃し、西洋画の移植に奮闘する彼らを言葉の力で支えました。後年、文展（文部省美術展覧会）の審査委員や、皇室博物館（現・東京国立博物館）の総長兼図書頭に就任したことなどは、鷗外の美術に関する見識の深さを示す一端でもあります。

鷗外は美術家とは異なる冷静な視点で画家と画壇の動向を見つめ、広く「芸術」の存在意義を説き、数々の言葉にしてきました。本展ではそうした鷗外の言葉を一部ご紹介し、作品とともにご覧頂きます。

4. 展示点数 16 点



和田英作《海神》



五百城文哉《富士図》